

事例 15 認定こども園での自然体験活動支援

(中部森林管理局 木曽森林ふれあい推進センター)



- ・長野県木曽町 木曽町立開田こども園
- ・目隠しで樹皮に触れる子供たち
(令和6(2024)年12月)

- ・長野県木曽町 木曽町立木曽こども園
- ・紙芝居の上演
(令和6(2024)年12月)

木曽森林ふれあい推進センターでは、幼児期の子供たちが森林に関心を抱くきっかけ作りや、指導者の森林環境教育への理解促進を目的として、園児を対象とした自然体験活動支援を実施しています。

令和6(2024)年度は、同センターが所在する木曽町内の4つの認定こども園を対象に、屋内外で様々な自然体験活動を実施しました。園庭に樹木のある園では、園児たちが樹木に目隠しで触れるなど五感を使って自然とふれあいました。また、園児数や年齢差を踏まえた保育士からのリクエストに応え、紙芝居の上演や工作、ネイチャーゲーム等を行いました。

様々なアクティビティを通して、園児たちは自然とのふれあいを楽しみながら、自然や森林の大切さを知ることができた様子でした。また、保育士の森林環境教育に関する理解も深められた様子で、保育士からは「幼児期から、森林等の自然環境に触れる機会をつくっていただきありがたい」といった感想をいただきました。

同センターでは、今後も園の要望を踏まえた森林教室を実施し、子供たちの森林環境教育支援に取り組んでいきます。